

2021年2月5日

# 2021年3月期第3四半期決算説明会資料

株式会社島津製作所

取締役 常務執行役員 山本 靖則

- ① **第3四半期業績概要**
- ② 第3四半期セグメント別業績
- ③ 通期業績予想
- ④ 補足資料

# 第3四半期業績サマリー



## 増収増益

売上高及び営業・経常・純利益は  
第3四半期の過去最高を更新

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響は一部残るものの、計測・産業の事業環境は回復傾向
- ・売上高は上期の前年同期比▲4%から、第3四半期は+5%と増収に、各利益も増加し、増収増益
- ・主力の計測機器は、売上高で8期連続・営業利益で4期連続で第3四半期の過去最高を更新

## 新型コロナウイルス 感染拡大への対応 「感染症対策プロジェクト」

- ・計測は、新型コロナウイルス検出試薬キットの販売が加速
- ・また11月には全自動PCR検査装置を発売
- ・医用は、肺炎検査の回診用装置の需要が継続

## 中国で計測を中心に回復が持続、 日本・欧州・その他アジアも増加

- ・中国では、計測が上期の+13%に続き、第3四半期も+11%と好調を継続
- ・同じく中国で、医用は回診用装置で、産業は設備投資の回復で増加
- ・欧州では西欧の製薬・臨床等、その他のアジアではインドの製薬を中心に増収に転じた

## 計測の重点機種（LC・MS・GC）の成長が継続 産業のTMPも好調持続

- ・計測の重点機種（LC・MS・GC）は、第2四半期に+5%と増加に転じ、第3四半期も+6%となり、製薬・食品安全・医療機関向けを中心に成長
- ・産業のTMPは5G等の半導体需要の拡大で好調を継続

# 損益計算書

- ・ 売上高 973億円 (前年同期比 : +47億円、+5%)
- ・ 営業利益 131億円 (前年同期比 : +30億円、+30%)
- ・ 営業利益率 13.4% (前年同期比 : +2.6pt)

単位 : 億円		第3四半期		前同比	
		FY2020	FY2019	差額	増減率
業績	売上高	973	926	+47	+5%
	営業利益	131	101	+30	+30%
	営業利益率	13.4%	10.9%	+2.6pt	-
	経常利益	130	107	+23	+22%
	親会社株主に帰属する当期純利益	97	81	+16	+19%
為替	平均レート : 米ドル (円)	104.57	108.80	▲4.23	▲3.9%
	ユーロ (円)	124.57	120.36	+4.21	+3.5%
主要投資	研究開発費	37	36	+1	
	設備投資額	46	22	+24	
	減価償却費	39	33	+6	

## 為替影響

売上高 : ▲12億円  
営業利益 : ▲4億円

## 為替感応度

	売上高	営業利益
USD	12億円	4億円
EUR	2億円	0.7億円

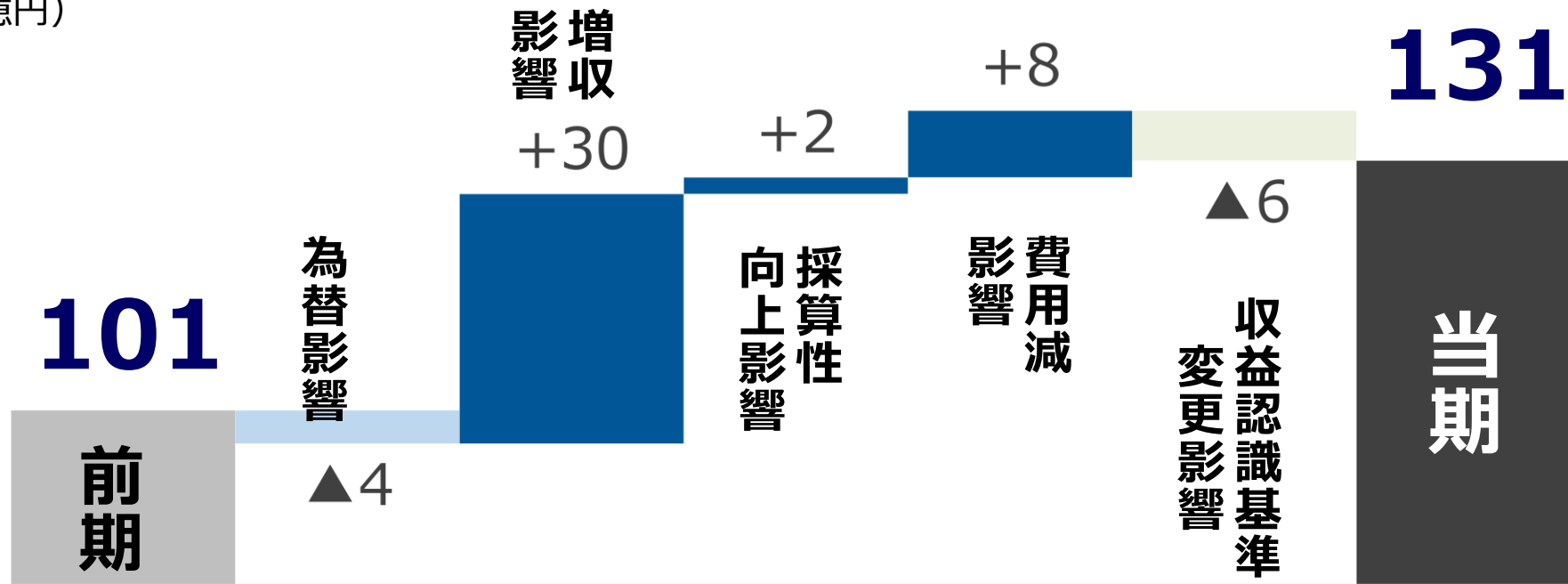
〈会計基準変更による影響〉

- 1) 売上基準を出荷基準から据付完了基準に変更  
影響額 : 売上高 : ▲19億円  
営業利益 : ▲6億円
- 2) リース基準の変更 (賃借料→減価償却費)  
影響額 : 減価償却費 +4億円

# 営業利益増減要因

- ・ 為替影響 : ▲ 4億円（前年同期比、米ドルは4%円高、ユーロは4%円安）
- ・ 増収影響 : +30億円
- ・ 採算性向上 : + 2億円（セグメントミックスの改善による採算性向上）
- ・ 費用減 : + 8億円（経費削減の推進、営業活動の制限による費用減）
- ・ 収益認識基準変更 : ▲ 6億円

(億円)



## セグメント別損益

- 計測：増収増益 ■ 重点機種・その他ともに増収、売上高、営業利益・営業利益率いずれも第3四半期の過去最高を更新
- 医用：増収増益 ■ 新型コロナの影響で厳しい状況ながら肺炎検査用のX線撮影装置は増加持続、費用減を強化し大幅に増益
- 産業：増収増益 ■ 半導体製造装置向けにTMPの増加持続、中国での設備投資回復で油圧機器・その他も復調
- 航空：減収減益 ■ 民間航空機の減産が大きく影響

単位: 億円	売上				営業利益				営業利益率		
	FY2020	FY2019	前同比		FY2020	FY2019	前同比		FY2020	FY2019	前同比 増減
			差額	増減率			差額	増減率			
計測	628	591	+38	+6%	113	95	+18	+19%	17.9%	16.1%	+1.8pt
医用	157	154	+3	+2%	9	▲1	+10	-	5.7%	-0.8%	+6.5pt
産業	117	107	+10	+9%	11	10	+1	+13%	9.7%	9.4%	+0.3pt
航空	60	61	▲1	▲2%	▲0	1	▲2	-	-0.7%	2.0%	▲2.7pt
その他	10	13	▲3	▲22%	4	2	+1	+63%	26.6%	12.7%	+13.9pt
調整額					▲6	▲7	+1	-			
合計	973	926	+47	+5%	131	101	+30	+30%	13.4%	10.9%	+2.6pt

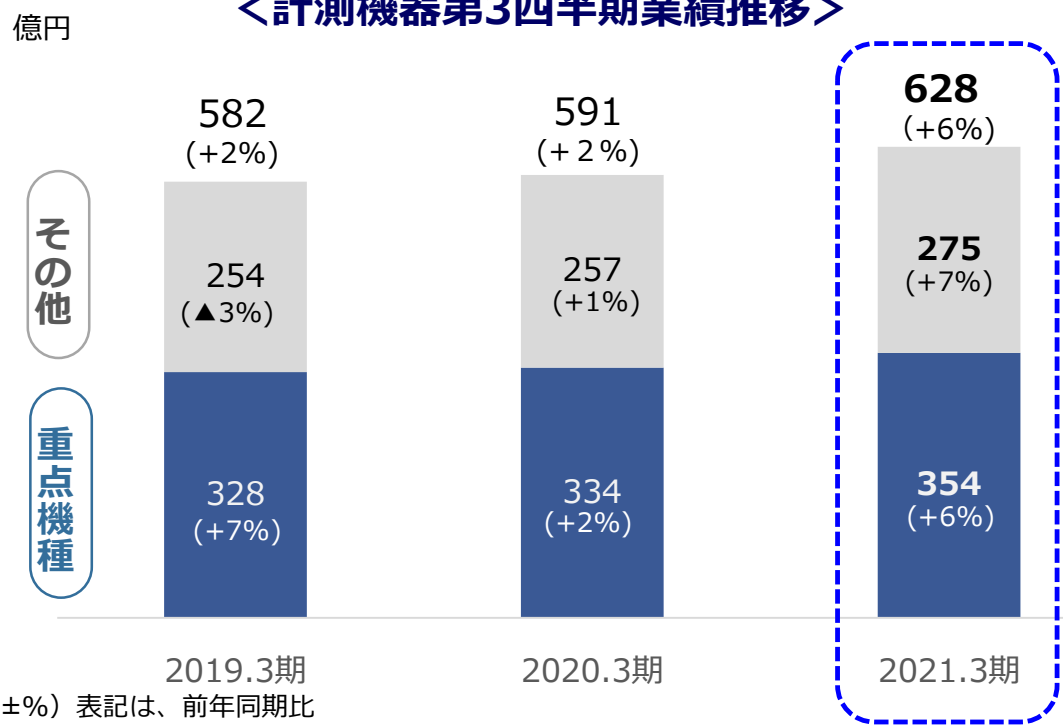
\* 売上は外部売上 営業利益率は営業利益/外部+内部で算出

- ① 第3四半期業績概要
- ② 第3四半期セグメント別業績**
- ③ 通期業績予想
- ④ 補足資料

# 計測機器/機種別売上高

- 重点機種** : 354億円 (対前年 : +20億円、+6%) 上期 (対前年+5億円、+1%) より回復が鮮明  
 LCは一体型が製薬、MSは医療機関向け、GCは衛生管理分野向けにそれぞれ増加
- その他** : 275億円 (対前年 : +18億円、+7%) 上期の減収 (対前年▲42億円、▲8%) から増加  
 新型コロナウイルス検出試薬キットが増加
- アフターマーケット比率** : 35% (前同比 +2pt)  
 新型コロナウイルス検出試薬キット及びクロマトグラフの消耗品が増加

<計測機器第3四半期業績推移>



※ (±%) 表記は、前年同期比

## 計測機器製品

その他				
	新型コロナウイルス検出試薬キット	全自動PCR装置 AutoAmp	水質分析計 TOC-1000e	試験機
重点機種				
	液体クロマトグラフ i-Series	液体クロマトグラフ 質量分析計 LCMS-8060NX	イメージング 質量顕微鏡 iMScope QT	ガスクロマトグラフ 質量分析計 GCMS-TQ8050 NX



## 計測機器/地域別売上高

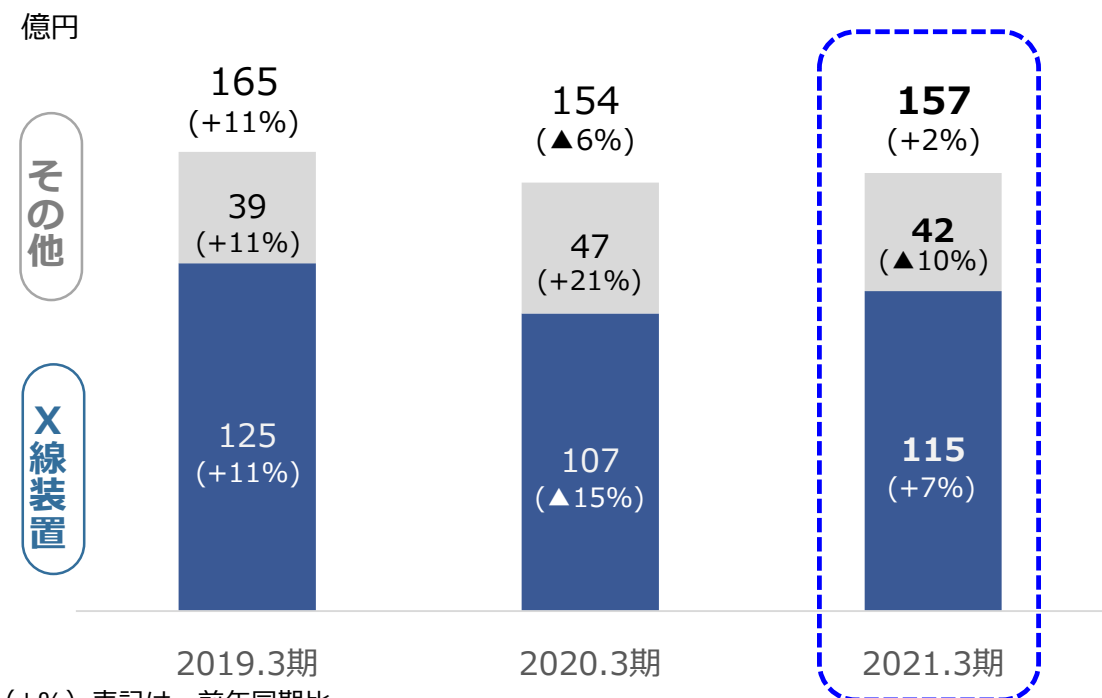
日本：+11% : 新型コロナウイルス検出試薬キットは好調に推移、一方輸送機向けの試験機・非破壊検査装置などは厳しさが継続  
 海外：+4% : 中国の回復が継続。欧州は西ヨーロッパでの製薬・臨床・大学を中心に回復傾向、その他のアジアもインドの製薬で回復傾向で、それぞれ増加に転じた。北米は中小ラボの投資停滞等で減少  
 海外売上高比率：63%（前同比 ▲1pt）

億円	FY2020	FY2019	増減額	増減率	概況
日本	235	212	+24	+11%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス検出試薬キットが好調に推移</li> <li>・補正予算などで大学を中心に質量分析計が増加</li> </ul>
海外	393	379	+14	+4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の回復が継続、欧州も増加、またインドを中心にその他のアジアも増加</li> <li>・北米は新型コロナの影響下、臨床ラボ等の需要が停滞</li> </ul>
中国	161	145	+15	+11%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中国薬典」改正需要で質量分析計等が増加</li> <li>・政府の積極的な投資、食品安全需要の拡大、また産業分野の市況回復により拡大</li> </ul>
北米	66	73	▲7	▲10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの感染拡大や大学・臨床・官公需の停滞が影響</li> <li>・中小ラボでの投資も停滞傾向</li> </ul>
欧州	71	66	+5	+8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西ヨーロッパでの製薬・大学等で投資が回復傾向</li> <li>・液体クロマトグラフ・ガスクロマトグラフが好調に推移</li> </ul>
その他アジア	75	71	+4	+6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インドでの医薬品原料自国生産強化策により、製薬での設備投資が回復基調</li> </ul>

# 医用機器/機種別売上高

- ・X線装置 : 115億円 (対前年: +8億円、+7%) , 新型コロナの影響で厳しい市況ながら増収を確保  
 新型コロナウイルス感染症の肺炎検査で、回診用X線撮影装置が大きく伸長  
 医療機関の収益悪化など市況の停滞で血管撮影システム・X線TVシステムは減少
- ・その他 : 42億円 (対前年: ▲5億円、▲10%)
- ・アフターマーケット比率 : 34% (前同比 +3pt)

## <医用機器第3四半期業績推移>



※ (±%) 表記は、前年同期比

### 医用機器製品

その他				
	マンモPETシステム Elmammo Avant Class	近赤外光カメラシステム LIGHTVISION	病院受付システム MERSYS-IV (感染症パッケージ)	放射線治療装置用動体追跡システム SyncTraX FX4
X線撮影装置				
	回診用装置 MobileDaRt Evolution	X線TVシステム SONIALVISION G4	血管撮影システム Trinias unity edition	一般撮影システム RADspeed Pro

# 医用機器/地域別売上高

- ・日本 : ▲ 7% 新型コロナウイルス感染拡大で通常の治療・手術の停滞が発生、医療機関での設備投資が遅延・凍結
- ・海外 : + 13% 回診用X線撮影装置が海外主要地域で増加
- ・海外売上高比率 : 48% (前同比 +5pt)

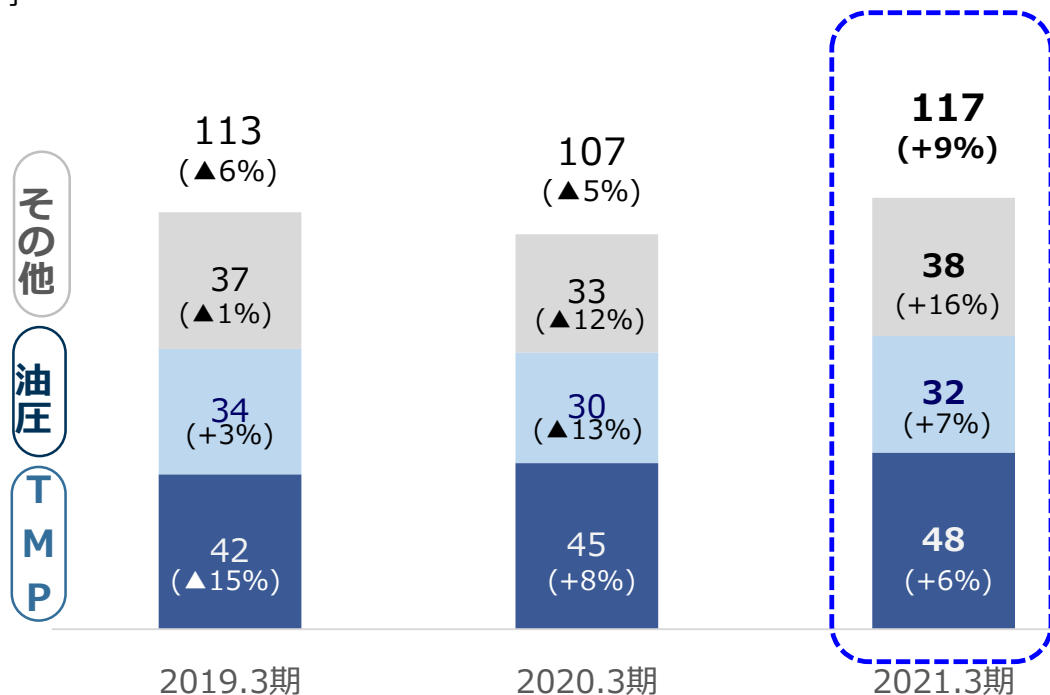
億円	FY2020	FY2019	増減額	増減率	概況
日本	82	88	▲6	▲7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大による、医療機関での設備投資延期・凍結が影響</li> <li>・特に大型装置である血管撮影システムが減少</li> </ul>
海外	76	67	+9	+13%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺炎診断用に回診用X線撮影装置の増加が継続。北米・欧州・中国で拡大</li> </ul>
北米	19	15	+3	+22%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺炎診断用に回診用X線撮影装置が増加</li> <li>・2019年1月に買収した販社CMI社の合併の効果</li> </ul>
欧州	18	11	+6	+54%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺炎診断用に回診用X線撮影装置が増加</li> <li>・西ヨーロッパで大幅に拡大</li> </ul>
中国	13	11	+2	+20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺炎診断用に回診用X線撮影装置が増加</li> </ul>
その他 アジア	13	16	▲3	▲18%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり東南アジアの一部地域で据付け遅延</li> </ul>

# 産業機器 / 機種別売上高

- ・ **TMP** : 48億円 (対前年 : +3億円、+6%) 半導体製造装置向けを中心に好調を維持
- ・ **油圧** : 32億円 (対前年 : +2億円、+7%) 中国のフォークリフト・小型建機向けの需要が回復傾向
- ・ **その他** : 38億円 (対前年 : +5億円、+16%) 中国で産業分野の設備投資が回復、ガラスワインダーが増加
- ・ **TMP のアフターマーケット比率** : 18% (前同比 +1pt)

〈産業機器第3四半期業績推移〉

億円

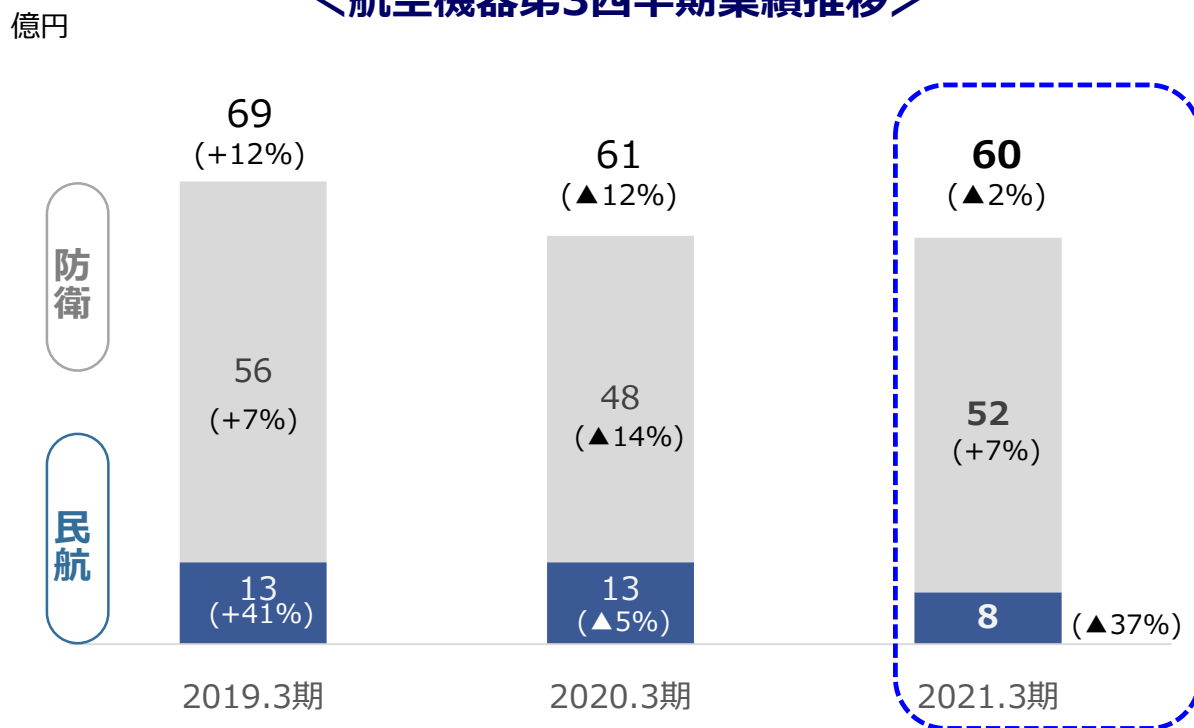


産業機器製品			
その他			
	工業炉	ガラスワインダー	バランサー
TMP			
	電源一体型	電源別置き型	
油圧機器			
	ギアポンプ	コントロールバルブ	

# 航空機器/分野別売上高

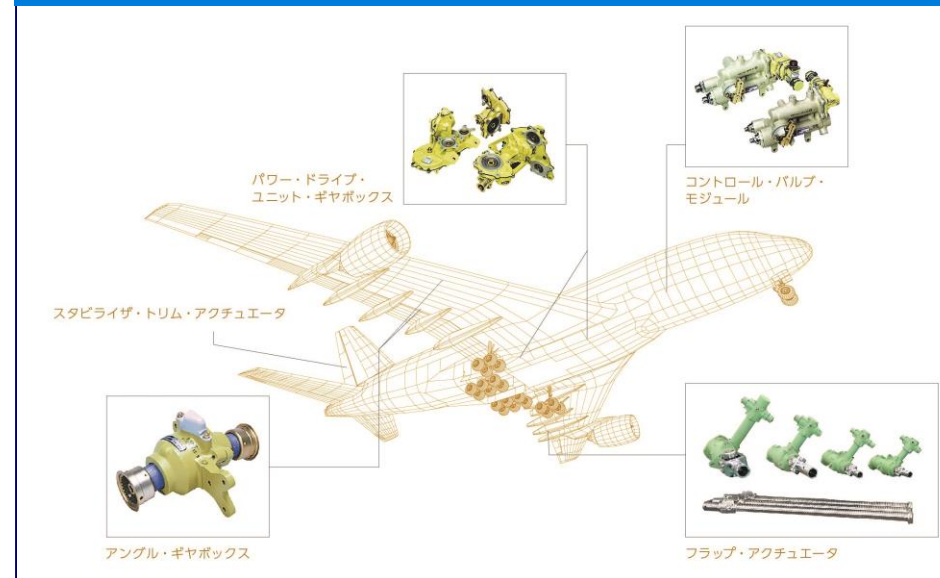
- ・民航：8億円（対前年：▲5億円、▲37%）
  - ・防衛：52億円（対前年：+4億円、+7%）
- 民間航空機の減産により、ボーイング向け搭載機器を中心に大きく減少  
防衛省向け搭載機器の納入が進み増加

## <航空機器第3四半期業績推移>



※ (±%) 表記は、前年同期比

## 航空機搭載機器（旅客機用）



- ① 第3四半期業績概要
- ② 第3四半期セグメント別業績
- ③ 通期業績予想**
- ④ 補足資料

# 事業環境の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響が依然続くものの、計測機器ではヘルスケアを中心に需要の拡大、医用機器では補正予算による公立病院の設備投資、また産業機器では半導体分野を中心に需要の拡大を予想

事業セグメント	分野		市況見通し
計測	ヘルスケア	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新型コロナウイルス検出試薬キット及びPCR検査装置の需要拡大</li> <li>■ ウイルス研究用・検査用に質量分析計等の拡大</li> <li>■ 中国で薬典改正による需要が継続</li> </ul>
	大学・官公庁	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ウイルス研究用に質量分析等の需要拡大</li> <li>■ 国内での補正予算による需要拡大</li> </ul>
	産業関連	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 素材や電機等での設備投資の回復傾向</li> </ul>
医用	公立病院	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内で補正予算による需要</li> <li>■ 肺炎診断用の回診用X線撮影装置の需要は一服</li> </ul>
	民間病院	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 厳しい病院経営により投資停滞が継続</li> </ul>
産業	TMP	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 半導体製造装置の高水準の生産に伴うターボ分子ポンプの需要増</li> </ul>
	油圧機器	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中国を中心にした回復による油圧機器需要の拡大</li> </ul>
	その他	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中国での設備投資回復による工業炉・ガラスワインダーの需要増</li> </ul>
航空	民間航空機器	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 民間航空機の大幅な減産継続による搭載機器の需要減</li> </ul>

# 通期業績予想

- ・売上高は前回より200億円増の3,850億円、営業利益は80億円増の460億円に上方修正
- ・営業利益及び営業利益率は過去最高を更新
- ・期末配当金は、前回より2円増の一株15円、年間配当金は一株30円の計画

	単位：億円	通期			前回予想比		前期比	
		FY2020	FY2020前回予想	FY2019	差額	増減率	差額	増減率
業績	売上高	3,850	3,650	3,854	+200	+5%	▲4	▲0%
	営業利益	460	380	418	+80	+21%	+42	+10%
	営業利益率	11.9%	10.4%	10.9%	+1.5pt	-	+1.1pt	-
	経常利益	450	375	427	+75	+20%	+23	+5%
	親会社株主に帰属する当期純利益	330	270	318	+60	+22%	+12	+4%
為替	平均レート：米ドル（円）	105	106	109	▲1	▲0.9%	▲4	▲3.5%
	ユーロ（円）	123	118	121	+5	+4.1%	+2	+1.8%
主要投資	研究開発費	160	160	169	+0	-	▲9	▲5.3%
	設備投資額	120	120	177	+0	-	▲57	▲32.1%
	減価償却費	150	150	133	+0	-	+17	+13.2%

## 通期為替影響額

売上高：▲41億円  
営業利益：▲14億円

## 配当金

中間：15円（前期15円）  
期末：15円（前期15円）  
年間：30円（前期30円）

〈会計基準変更による影響〉  
リース基準の変更（賃借料→減価償却費）  
年間影響額：減価償却費 17億円



# 通期セグメント別業績予想

- ・計測：増収増益 ■ヘルスケア分野を中心に、日本・中国・欧州などで回復が続くと予想
- ・医用：減収増益 ■新型コロナの影響で医療機関の経営状況は厳しく市況は停滞が続く見込みだが増益は確保
- ・産業：増収増益 ■半導体製造装置向けのTMPは好調が継続
- ・航空：減収減益 ■民間航空を中心に厳しい市況が継続

単位: 億円	売上						営業利益						営業利益率		
	FY2020	前回予想	FY2019	前回予想比 差額	前期比		FY2020	前回予想	FY2019	前回予想比 差額	前期比		FY2020	FY2019	前期比 増減
					差額	増減率					差額	増減率			
計測	2,440	2,280	2,362	+160	+78	+3%	410	335	358	+75	+52	+15%	16.8%	15.1%	+1.7pt
医用	655	620	702	+35	▲47	▲7%	33	24	32	+9	+1	+3%	5.0%	4.5%	+0.5pt
産業	440	425	430	+15	+10	+2%	40	37	37	+3	+3	+9%	9.1%	8.5%	+0.6pt
航空	275	285	300	▲10	▲25	▲8%	1	+6	8	▲5	▲7	▲87%	0.4%	2.6%	▲2.3pt
その他	40	40	60	+0	▲20	▲33%	5	5	12	+0	▲7	▲58%	8.6%	15.4%	▲6.8pt
調整額							▲29	▲27	▲27	▲2	▲2	-			
合計	3,850	3,650	3,854	+200	▲4	▲0%	460	380	418	+80	+42	+10%	11.9%	10.9%	+1.1pt

\*売上は外部売上 営業利益率は営業利益/外部+内部で算出

- ① 第3四半期業績概要
- ② 第3四半期セグメント別業績
- ③ 通期業績予想
- ④ 補足資料**

# 損益計算書（9か月累計）

		4 - 1 2月（9か月累計）		前同比	
単位：億円		FY2020	FY2019	差額	増減率
業績	売上高	2,761	2,791	▲31	▲1%
	営業利益	327	280	+48	+17%
	営業利益率	11.9%	10.0%	+1.8pt	-
	経常利益	325	288	+37	+13%
	親会社株主に帰属する当期純利益	236	214	+22	+10%
為替	平均レート：米ドル（円）	106.2	108.7	▲2.6	▲2.3%
	ユーロ（円）	122.4	121.1	+1.3	+1.1%
主要投資	研究開発費	108	121	▲13	
	設備投資額	105	119	▲14	
	(減価償却費)	115	98	+17	

## 為替影響

売上高 : ▲25億円  
営業利益 : ▲9億円

## 為替感応度

	売上高	営業利益
USD	12億円	4億円
EUR	2億円	0.7億円

〈会計基準変更による影響〉

- 1) 売上基準を出荷基準から据付完了基準に変更影響額：売上高+22億円、営業利益：+13億円
- 2) リース基準の変更（賃借料→減価償却費）影響額：減価償却費 +13億円

# セグメント別損益（9か月）

単位: 億円	売上				営業利益				営業利益率		
	FY2020	FY2019	前同比		FY2020	FY2019	前同比		FY2020	FY2019	前同比 増減
			差額	増減率			差額	増減率			
計測	1,726	1,725	+1	+0%	284	251	+33	+13%	16.5%	14.6%	+1.9pt
医用	464	503	▲40	▲8%	20	13	+7	+56%	4.3%	2.6%	+1.8pt
産業	323	302	+20	+7%	29	21	+7	+33%	8.8%	7.1%	+1.8pt
航空	220	213	+7	+3%	4	4	▲1	▲13%	1.7%	2.0%	▲0.3pt
その他	29	48	▲19	▲40%	6	8	▲3	▲34%	13.3%	13.4%	▲0.1pt
調整額					▲15	▲18	+3	-			
合計	2,761	2,791	▲31	▲1%	327	280	+48	+17%	11.9%	10.0%	+1.8pt

# 計測機器/重点機種前同比

	FY2018					FY2019					FY2020		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
重点機種	+4%	+0%	+8%	+2%	+3%	+5%	+7%	+5%	▲10%	▲1%	▲5%	+2%	+11%
全体	+12%	+3%	+3%	+2%	+6%	▲4%	+10%	+4%	▲11%	+1%	▲7%	▲4%	+10%

\*重点機種：液体クロマトグラフ（L C）、質量分析計（M S）、ガスクロマトグラフ（G C）

\* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較

## 計測機器/地域別売上高前同比

国	FY2018					FY2019					FY2020		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	+15%	▲1%	▲4%	▲1%	+1%	▲12%	+21%	+0%	▲5%	+1%	▲11%	▲15%	+15%
北米	+17%	+14%	+9%	+3%	+10%	+4%	▲5%	+16%	+4%	+5%	▲4%	+13%	▲8%
欧州	+11%	+7%	+19%	+8%	+12%	+1%	+19%	+2%	▲2%	+5%	▲5%	▲5%	+5%
中国	+10%	+6%	+3%	+9%	+7%	▲8%	▲4%	+4%	▲40%	▲12%	+12%	+14%	+18%
その他アジア	▲2%	▲1%	+13%	▲2%	+4%	+19%	+11%	+8%	▲10%	+6%	▲25%	▲9%	+5%
インド	+6%	▲7%	+4%	▲9%	▲3%	+11%	▲3%	+27%	▲5%	+7%	▲35%	▲4%	+4%

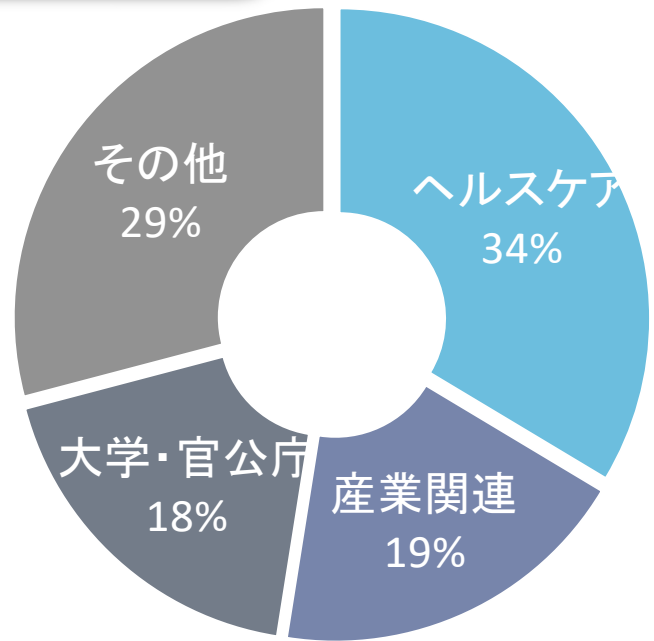
\* インドはその他アジアの内数

\* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較

# 計測機器/市場別売上高比率（10-12月）

- ・ **ヘルスケア** : 製薬での投資拡大、新型コロナウイルス検出試薬キットの増加
- ・ **産業関連** : 中国市場の回復継続。自動車は厳しい状況が継続
- ・ **大学・官公庁** : 政府による需要喚起により増収に転じる

市場別売上構成比



市場と主な業界	前同比	概況
<b>ヘルスケア</b> ・医薬品・食品 ・医療機関 ・受託分析業	+12%	・新型コロナウイルス検査試薬キット好調 ・医薬・食品安全で増加
<b>産業関連</b> ・化学・素材 ・電機 ・自動車	▲1%	・中国は回復が継続 ・自動車向けが大幅に減少
<b>大学・官公庁</b>	+7%	・大学は日本、中国で増加 ・官需は日本、欧州で増加

# 医用機器/地域別売上高前同比

国	FY2018					FY2019					FY2020		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	▲1%	+16%	+19%	+6%	+10%	+6%	+30%	▲2%	▲5%	+7%	▲15%	▲33%	▲1%
北米	+17%	▲3%	▲33%	▲24%	▲12%	▲24%	▲17%	+5%	+7%	▲9%	+14%	+29%	+26%
欧州	+190%	+31%	+22%	▲1%	+34%	▲26%	▲6%	+2%	▲8%	▲9%	+19%	+30%	+51%
中国	+1%	▲14%	▲5%	▲15%	▲9%	▲33%	+5%	▲26%	+13%	▲8%	+34%	▲33%	+29%
その他アジア	+11%	▲2%	+45%	▲28%	+6%	▲8%	+3%	▲16%	+34%	▲0%	▲9%	+17%	▲4%

\* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較



# 産業機器/機種別売上高前同比

	FY2018					FY2019					FY2020		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
<b>TMP</b>	+14%	+0%	▲15%	▲29%	▲9%	▲25%	▲26%	+10%	+48%	▲1%	+46%	+36%	+7%
<b>油圧</b>	+6%	+1%	+4%	+1%	+3%	+2%	+1%	▲12%	▲5%	▲4%	▲19%	▲17%	+7%
<b>その他</b>	+92%	▲9%	▲1%	+36%	+21%	▲37%	+19%	▲11%	▲1%	▲8%	▲7%	▲20%	+14%

\* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較

# アフターマーケット(AM)比率

## 計測

	FY2018					FY2019					FY2020		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
AM売上前同比	+18%	+14%	+15%	+11%	+14%	+3%	+6%	+10%	▲2%	+4%	+1%	+4%	+12%
AM比率	31%	31%	31%	29%	30%	34%	30%	33%	32%	32%	37%	33%	34%

## 医用

	FY2018					FY2019					FY2020		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
AM売上前同比	+4%	▲2%	+5%	+2%	+2%	+5%	+13%	▲3%	+2%	+4%	+1%	▲8%	+14%
AM比率	32%	29%	30%	29%	30%	35%	28%	31%	30%	30%	37%	32%	32%

## TMP

	FY2018					FY2019					FY2020		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
AM売上前同比	+49%	+31%	+26%	+19%	+29%	+13%	+9%	▲1%	+12%	+8%	+12%	+3%	+11%
AM比率	14%	18%	20%	24%	19%	22%	27%	18%	18%	21%	17%	21%	19%

\* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較



 **SHIMADZU**  
Excellence in Science

本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所  
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ  
電話：075-823-1673 E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp